

## 平成目安箱への回答 No.32 老老介護について

担当主管課：福祉課高齢福祉係（内線 302）

要望等内容	回答
<p>昨今、認知症の方の、特に介護者による殺害事件の報道が目を引く。長く生きてきて、人生の最後の迎え方としてこれほど悲惨なものはないと言えるだろう。また加害者について、許すことはできない犯罪であることは曲げられないにしても、同情の念を抱いてしまうのは私だけだろうか。</p> <p>もし、その家庭の苦しみや痛みをもう少し早く周囲の人間が察知して、少しでも救いの手を差し伸べていたなら、防げていた可能性はあると思う。</p> <p>そこまで考えて、さて我が大磯町にはどれくらいの老老介護家庭があるのだろうかとなった。</p> <p>町ではその実態を把握しているのだろうか。また、把握しようと試みているのだろうか。また、その家庭に対してどのような援助や配慮をしているのか。</p> <p>私にも協力できることがあるならばしたいし、周りにも情報を伝えたい。</p> <p>観光立町も環境保護も大事。だがその前にまず、人間尊重だと思い、投稿した。よろしく回答をお願いしたい。</p>	<p>町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。さて、ご質問いただきました、老老介護について、現在実施している介護者支援について、介護保険サービス、高齢者福祉サービス等を含めて回答させていただきます。</p> <p>当町では、3年に1回改訂される高齢者福祉計画（介護保険事業計画）の策定の際に高齢者世帯の介護状況の把握をしており、老老介護の状況等についても把握に努めております。前回調査では、介護を必要としている方の約43%が65歳以上の方が主な介護者となっているという結果が分かっております。</p> <p>介護が必要となった場合は、要介護認定の申請をしていただき、介護度により、必要な介護サービスを一部自己負担により利用していただくことができます。</p> <p>具体的には、在宅介護サービスの主なものとして、通所介護（デイサービス）や短期入所（ショートステイ）など様々なサービスがございます。</p> <p>なお、介護保険サービス以外の介護者（老老介護を含む）への支援として、現在、高齢者を自宅で介護している方が、心身ともにリフレッシュし、日頃の疲れを癒し、同じ環境にある方と気持ちを共有する場として「家族介護者のつどい」を月に1回開催しています。また、認知症サポーター養成講座の開催により、地域で高齢者を支えることができる環境を作っております。</p> <p>経済的な支援の部分では、介護タクシー利用助成や紙おむつ購入費助成など在宅介護の負担を軽減するサービスを実施しています。</p> <p>その他に、医療・介護・地域住民・行政などが連携して高齢者を支えるための「地域包括ケア」を構築するために、現在、それぞれの機関が提供できるサービスや資源を検討しています。地域包括ケアの実現のためには、地域住民による高齢者への声かけや見守りが重要となりますので、日常生活の中で、御協力いただければ大変心強いです。</p> <p>なお、町で提供している高齢者向けサービスのほか、活用できる民間サービスなどの情報を紹介できる機関として、大磯町地域包括支援センターがございます。電話による相談のほか、必要があれば、御自宅を訪問して、細かな御相談に応じています。</p> <p>身近に支援を必要とされる高齢者がいらっしゃいましたら、下記まで御連絡をいただければ幸いです。</p> <p>【相談窓口】  大磯町町民福祉部福祉課高齢福祉係 電話 0463-61-4100 内線 302、315  大磯町地域包括支援センター 電話 0463-61-9966</p>